

☆新幹線駅舎内装の木質化☆(富山県)

“北陸新幹線駅舎に県産スギ不燃パネルを施工”公共建築物等における国産材の利用事例

☆県産スギを利用した不燃パネルの開発

県産スギ突板と無機不燃ボードを積層し、公共建築物の玄関ホールなど(建築基準法の縦穴区画)の大壁面施工に適した、意匠性が高く、軽量で、施工性に優れた富山県産スギ不燃パネルを、また、その技術を応用して、県産スギ突板をアルミ基材に積層したスギ不燃アルミ壁材を開発しました。



スギ不燃パネル



スギ不燃アルミ壁材

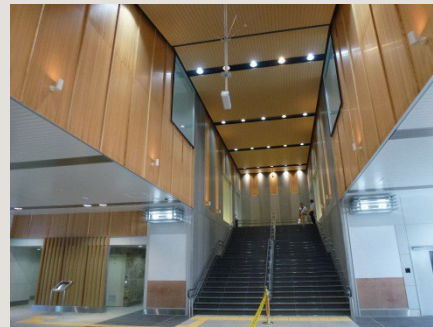
- * タテヤマスギ(実生)とボカスギ(挿し木)の品種の特徴(木目、色調など)を最大限に生かしながら、大壁面施工に適した意匠性を付与
- * 本製品は、建築基準法の不燃材料に適合
- * 開発した製品は、その高い意匠性、施工性、不燃性が認められ、北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅および富山駅に採用

県産スギ不燃パネルを使った建築事例

○ 北陸新幹線駅舎内壁面

・黒部宇奈月温泉駅

スギ不燃パネル:コンコース上部
待合室天井など



・富山駅

スギ不燃アルミ壁材:コンコース上部など

